

地域おたすけガイドとは

- 1 地域の災害初動時の対応計画書
(災害初動対応マニュアル) のこと。
 - ①役員参集場所等一覧表の記載
 - ②災害対応リストなどの記載
- 2 **親しみやすい**ように名称を
「地域おたすけガイド」としている。
- 3 自らの安全を確保し無理をせず、自分達の出来る範囲で行うことが大前提。

なぜ必要なのか

- 1 組織的な防災活動は急に行うことは困難。
- 2 あらかじめ対応計画を作成し、それをもとに**参集した順に優先すべき必要な任務**を割り充て、被害の軽減につなげる。
- 3 発災後 **72 時間**までの間に地域住民が行う「命を救うための活動」に焦点を絞り作成。

(予備知識)

大規模災害時は地域のみなさまの協力が必要

- 1 阪神・淡路大震災のとき、発災後、**14 分間**の間に神戸市内で **54 件**の火災が**同時に発生**した。さらに火災に加えて建物倒壊などによって救助を求める人が多数発生した。
- 2 大規模災害時、非常召集の職員や他都市からの応援の消防隊が到着するまでには時間がかかるため、それまでの間、地域のみなさまによる**初期対応**が必要となる。

お助けガイド作成方法

- 1 ワークショップ形式
- 2 話し合うことで、共通認識を持つ
- 3 地域が一体となって防災について考える

主に話し合っていたいただく事項

- 1 防コミ運営本部設置場所
- 2 ブロック本部設置場所
- 3 防災資機材庫の場所
- 4 避難所
- 5 耐震防火水槽の場所
- 6 災害時要援護者名簿保管場所
- 7 防災行政無線保有者
- 8 地域内の危険箇所